ボーリング柱状図

調査名 一級河川　太田川水系　桐原川支川２２　通常砂防事業に伴う業務委託

事業・工事名

ボーリングNo.	5	1	3	2	6	4	3	2	0	0	2

シートNo.

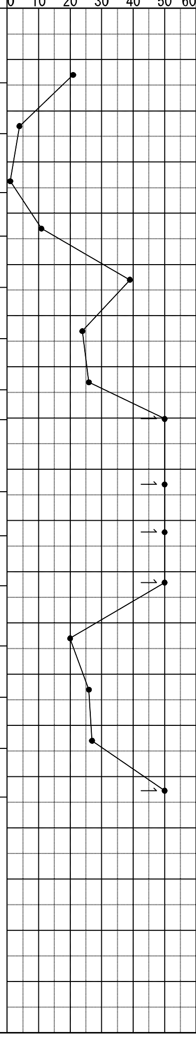
ボーリング名	Bor.No.2	**調査位置**	広島市安佐北区可部町桐原地区内	**北緯**	34°31’52.0142″
発注機関	広島県西部建設事務所	**調査期間**	平成28年 9月27日～平成28年 9月30日	**東経**	132°31’38.4796″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**	
コア鑑定者		**ボーリング責任者**			
孔口標高	95.95m	**角度**	180° 上 下 0° 90°	**方向**	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
総掘進長	15.00m	**地盤勾配**	水平 0° 鉛直 90°	**使用機種**	
試錐機	東邦地下工機Do-C型	**ハンマー落下用具**	半自動型		
エンジン	ヤンマーディゼルNFAD-８	**ポンプ**	ＣＰ－５０		

標高 m	深度 m	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分
91.20	4.75	礫混じり砂	茶褐～暗褐灰						礫混じり砂。φ=10～50mm程度の黒色を呈する砕石を含む。砂は中～粗砂。GL-0.00～0.1m間は植物片を多量に含み、その他区間にも少量の植物片を含む。	
90.45	5.50	玉石混り砂	明茶						玉石混じり砂。玉石は、最大コア長9cm程度で、比較的に硬質な花崗岩である。砂は、花崗岩起源の中～粗砂を主体とする。	
88.50	7.45	礫混り砂	明茶						礫混じり砂。礫は、φ=10～30mm程度で、礫種は花崗岩である。砂は花崗岩起源で、中～粗砂を主体とする。	
87.55	8.40	玉石混り砂	明茶						玉石混じり砂。玉石は、最大コア長10cm程度で花崗岩である。GL-7.45～8.40mの玉石は、比較的硬質であるが、それ以深の玉石は風化によりやや軟質である。砂は、花崗岩起源の中～粗砂を主体とする。	
84.95	11.00	風化花崗岩	茶褐灰	D	Ⅵ	d	δ	3	風化花崗岩。コアは指圧またはハンマーによる軽打で、容易に砂状に崩れる。花崗岩組織は風化及び変質作用により、やや不明瞭であるが、肉眼で確認できる。	DH
84.65	11.30	変質帯	乳白	D	Ⅶ	d	δ	4	変質帯。礫混じり粘性土。白色を呈する。わずかに岩組織を残し、砂を含む。	DH
80.95	15.00	変質帯	乳白	E	Ⅶ	d	ε	4		DL

コア採取率 (%)・最大コア長 cm・RQD [%]：GL-8.40～15.00m 各区間 0[0](100)

標準貫入試験

深度 m	打撃回数／貫入量 回/cm
1.15～1.45	21/30
2.15～2.45	4/30
3.15～3.60	1/45
4.15～4.45	11/30
5.15～5.45	39/30
6.15～6.45	24/30
7.15～7.45	26/30
8.00～8.03	50/3
9.15～9.44	50/29
10.15～10.30	50/15
11.15～11.27	50/12
12.15～12.45	20/30
13.15～13.45	26/30
14.15～14.45	27/30
15.15～15.40	50/25



掘進状況

掘進月日：9/27、9/28、9/29、9/30

掘進速度 cm/時：240, 210, 300, 270, 330, 270, 330, 360, 240, 270, 60, 60, 180, 83, 270, 220, 135, 110, 18, 146, 264, 168, 180, 140, 108, 44, 180, 55, 180, 55, 180, 55

孔径／孔壁保護：86

深度区間	コアチューブ／ビット	給圧 MPa	回転数 rpm	送水圧 MPa	送水量 l/分	排水量 l/分
0.00～4.75	SCT/シュー	0.0～10.0	45	0.0	泥水/10	0
4.75～6.50	SCT/MC	0.0～10.0	180	0.0	泥水/10	10
6.50～7.50	WCT/軟/B	10.0～20.0	45 / 90	0.0	泥水/10	0
7.50～9.50	WCT/軟/B	0.0～10.0	90～180	0.0	泥水/5	0
9.50～11.30	WCT/軟/B	10.0～20.0	90	0.0	泥水/10	0
11.30～15.00	WCT/DB/BT	0.0～10.0	90	0.1	泥水/10	0